

## 平成29年度 電磁波加熱技術部会見学会 株式会社太陽 見学記

- 1.日 時：平成30年2月7日（水） 9時45分～11時45分
- 2.見学場所：株式会社太陽
- 3.説明者：(株)太陽 取締役 生産本部長 武智 洋実 様、生産技術部 専門課長 島崎 保光 様  
生産技術部 設備課課長 奥田 賢生 様、生産技術課課長 泉 浩司 様
- 4.出席者：10名（事務局含む）
- 5.概要

前日、第48回電磁波加熱技術部会を四国電力高知支店の会議室をお借りして開催し、翌7日は、高知市内での技術交流・見学会を行った。午前中は、高知市布師田にある株式会社太陽殿を見学した。株式会社太陽殿は、「耕うん爪」で、全国シェア40%を誇る会社である。「耕うん爪」は、作物を育てる重要な土台となる「土づくり」に欠かせない「耕耘（こううん）」に利用されるトラクターでのロータリー耕の主要装置である。

会議室にて、会社の沿革、事業そして、主力商品である「耕うん爪」の紹介・製造工程などの説明を伺った。創業は、1920年（大正9年）で、1952年（昭和27年）に現在の爪の原型である「なた爪」を開発。1981年（昭和56年）には、画期的な耕うん性能及び耐久性を誇る「青い爪」を開発・販売。以降、業界をリードする開発を続けている。最近では、2016年（平成28年）に農作業の効率化を促進する製品事業の一つとして、野菜類袋詰め機が四国地方発明表彰で「日本弁理士会会長賞」を受賞している。

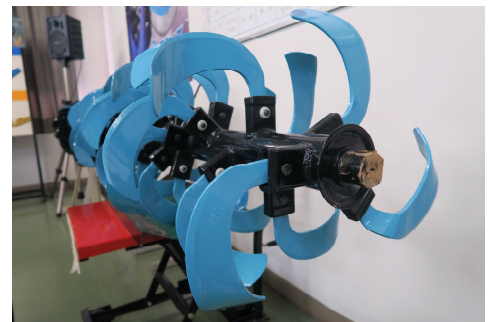


写真1 耕うん爪「青い爪」

工場見学では、耕うん爪の素材から、切断、圧延、焼入れ、焼戻し、塗装までの一貫生産の工程を見学させていただいた。生産工程では、エレクトヒート技術である誘導加熱技術が利用されていた。耕うん爪は、トラクターなどの製品メーカーに納めるものと、消耗した爪との交換用として爪単体として出荷されるものがあり、日々多くの製品が生産・出荷されている。

工場見学終了後、展示コーナーで様々な商品の説明や質問をさせていただいた。最後に、太陽殿からエレクトヒート技術に関して、生産性向上、品質改善の質問があり、会員様との議論を行う場面もあった。その意味からも、単にこちらが見学するだけでなく、訪問先との技術交流ができたことは非常に良いことであった。

農業は、人間にとって命につながる大切な産業であり、日本の機械による効率化された工法は世界に農業をリードするものである。太陽殿でも日本だけでなく、インドにも現地法人を設立されて海外展開が行われている。

今回の見学では、日本有数のシェアを誇る「耕うん爪」にも、エレクトヒート技術が利用され、生産性、品質向上に役立っている状況を知ることができ、有意義な技術交流・見学となった。



写真2 展示コーナーにて



写真3 会議室での説明